



# みんなのとしよかん



## 新着本のご案内

『読まなければなにもはじまらない  
いまから古典を<読む>ために』  
木越治、丸井貴史／編 文学通信



日本の「古典」は難しそう、堅苦しそうなど、なかなか読むまでの敷居が高くイメージされがちです。この本では古典の研究者たちが、源氏物語、井原西鶴などについてとり上げ、さまざまな角度からの古典の読み方、楽しみ方を語っています。

### 8月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

### 9月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

■…休館日    ○…えいが会    ◇…託児サービス  
●…おはなし会    □…おひざでだっこのおはなし会

日野町立図書館

☎0748-53-1644 FAX 0748-53-3068

\*図書館の本は、お近くの公民館でも返却していただけます\*

## 行事予定

### 「おはなし会」

第3を除く土曜日  
10:30～(30分程度)

### 「おひざでだっこのおはなし会」

8月20日(土)  
11:15～(20分程度)  
3歳くらいまでの親子を対象に絵本や手遊び、わらべうたなどをしています。

### 「託児サービス」

毎月第2・3水曜日  
10:00～12:00  
対象:0歳から3歳  
※8月は託児サービスを  
お休みします。

### 「えいが会」

8月21日(日)14:00～  
『マンゴーの樹の下で』  
2019年/日本 (89分)

※行事・サービスは中止する場合があります。

## お知らせ

### ○講演 「今、求められるメディアリテラシー — 情報社会をより良く生きるために —」

日時 9月10日(土) 14:00～15:30  
場所 日野町立図書館 視聴覚室  
講師 スマートニュースメディア研究所 研究員  
定員 40名(予定)  
主催 日野町立図書館

さる6月29日(水)、日野町の魅力を町内外に発信することを目的に、「近江日野ふるさと大使」を設置し、その第一号として日野町出身で元スキーモーグル日本代表の伊藤みきさんを任命させていただきました。

ご存知のとおり、伊藤みきさんは14歳でナショナルチームに選出され、高校生でトリノ五輪に初出場されました。その後も五輪代表やワールドカップで優勝されるなど大いに活躍されました。現役引退後は、「しがスポーツ大使」や滋賀県版SDGsである「MLGs(エス・ディー・エス・ジー・エス・エル・エル・エル) 広報大使」として活動をしてこられ、当町においても東京オリンピック聖火リレーへの参加のほか、5月にはわたむきの里福祉会さんとの田植えにも参加され、積

## 青雲之志

～町長コラム～

日野町長 堀江 和博

## 近江日野 ふるさと大使

極的に地域貢献活動をされておられます。

以前から地元日野町に貢献していきたいという思いをお聞かせいただいております。一緒に日野町をPRし盛り上げていければという事で、この度「近江日野ふるさと大使」を快くお引き受けいただきました。今後、行事・イベントなどさまざまな機会に伊藤さんにお力添えいただきたいと思います。

コロナ禍が続いておりますが、町役場が明るい話題を提供できる主体でありたいと思っております。8月6日(土)には役場駐車場を会場に、「氏郷まつり「夏の陣」も3年ぶりに開催される予定です。感染に気をつけながらではありますが、人と人とのコミュニケーションを大切に、明るい一歩を踏み出せる夏にしていきたいと思っております。



伊藤みきさんのメッセージ

# 温故知新

## 日野歴史探訪

私たちの住む日野町には、52の大字があり、それぞれの地域が豊かな自然と歴史文化でいろどられています。温故知新では、町内各大字の歴史と代表的な文化財をシリーズで紹介していきます。

## 大字猫田

大字猫田は必佐地区の南東に位置しています。北西へと流れる日野川を含む、平らな地域です。猫田のある必佐地区では湧水が多く、川からの引水も合わせて水に恵まれた土地です。その水と平地を田畑として活用し、米や麦などを生産していました。鎮守は隣村となる十禅師にある比都佐神社、寺院は村内に園融寺と禅林寺があります。

## 由来

「猫田」の地名は村内を走る日野川が関係しています。日野川の小さな川砂を「にこ」と呼び、そこから村名の由来となったとされています（『滋賀県の地名』）。史料の中では応永31（1424）年の置文案に「ねこ田神主」とあります。約600年前から続く、歴史ある地名であることがわかります。

## 禅林寺石造多層塔

禅林寺の境内右側に大きな石塔が目に残ります。これは禅林寺石造多層塔と呼ばれ、昭和37（1962）年には町指定文化財に指定されています。



【禅林寺石造多層塔】

この石塔は花崗岩によって造られています。硬い性質をもつ花崗岩は石材として広く用いられてきました。かつて日野町内では石材の産出が盛んで、多くの石造品が日野の石で造られています。しかし禅林寺の石塔は、町内産出しない花崗岩で造られており、当時の人がこの石塔にかけた手間をうかがい知ることができます。また、特徴として各層の傘が緩やかに反り、下層がむくむ形などが挙げられます。これらの特徴は鎌倉時代以前の層塔に見られるもので、滋賀県では東近江市の石塔三重塔に次ぐ古いものです。

## 田中藤左衛門家

日野町出身の他国稼ぎ商人は「日野商人」と呼ばれ、北関東を中心に、その土地に根ざした商売を行っていました。

大字猫田出身の代表的な日野商人に田中藤左衛門家と藤崎惣兵衛家が挙げられます。このうち田中家本宅は享保17（1732）年に埼玉県深谷で酒醸造をはじめ、のちに群馬県太田でしょうゆとみそ、茨城県境で酢醸造も行います。

猫田にある田中家本宅の家屋は、今に日野商人の本宅の形式を伝える貴重な様相を保っています。主屋は平成6（1994）年に改修し、入母屋造瓦葺となつていますが、諸所に建築当時の面影を残し、その形式から明治時代初期の建築だと考えられています。特に客人を招く座敷棟は、数奇屋風書院造で、日野商人の伝統的な建築形式を残しています（『日野商人本宅調査報告書』）。

日野商人は出店先や日野に関係の深いところへと、積極的に社会貢献を行っていました。そして、田中藤左衛門家も黄檗山萬福寺（京都府宇治）へと石畳を寄進しています。日野商人の大切にしてきたつながりを、現在も見ることが出来ます。



【黄檗山萬福寺の石畳】

◆問い合わせ先 近江日野商人ふるさと館「旧山中正吉邸」 ☎0748-52-0008